

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
フランス語 I	井出 勉	演習	2		4	3	1,3
授業概要 授業目的	<p>フランス語の発音にまず慣れてもらうよう十分に練習します。フランス語は思ったより日本語の中に取り入れられていることがわかり身近に感じられるはずです。実際のコミュニケーションにも対応できる会話文を通して、フランスの文化も紹介します。</p> <p>また、旅行でも役に立つ日常会話を習得することで、特に仏検 5 級の聞き取り問題にも対応できるようになってもらうことを目的とする。</p>						
到達目標	<p>①仏検 5 級合格レベルの初級文法や、簡単な日常的コミュニケーションを取れるようになること。</p> <p>②フランス語を学ぶことを通して、アメリカ文化とは違った、ヨーロッパの異文化を分析・解釈できるようになること。</p>						
回	学習内容		回	学習内容			
1	授業の進め方、フランスの紹介・発音		16	数字（特に 1～20）と年齢			
2	綴り字の読み方・出合ったときの挨拶		17	部分冠詞			
3	発音練習・別れの挨拶		18	飲み物：カフェでの注文・精算の仕方			
4	自己紹介の仕方		19	食べ物：レストランでの注文・精算の仕方			
5	名詞の性と数・不定冠詞		20	～に行く・～から来た			
6	形容詞の性と数		21	所有形容詞・人称代名詞強勢形			
7	特殊な変化の形容詞・定冠詞		22	比較級			
8	基本動詞の活用		23	命令形			
9	3通りの疑問文の作り方		24	曜日と日付けの表記の仕方			
10	指示代名詞・～が好き（大好き）		25	天候・時刻			
11	否定文		26	近接未来・近接過去			
12	動詞～を持つとその慣用表現		27	過去分詞の作り方			
13	疑問形容詞		28	複合過去（助動詞 avoir）			
14	動詞～をするとその慣用表現		29	複合過去（助動詞 être）			
15	中間試験と前期の総括		30	期末試験と後期の総括			
予習内容 復習内容	<p>予習：配布した講義資料に基づき、教科書付属の CD を聞いたりしておくこと。</p> <p>復習：前回の講義ノートなどに目を通し、疑問点などを明らかにしておくこと。</p> <p>CD も繰り返し聞き、自宅でも発音練習を各自でやっておくこと。</p>						
教科書	藤田裕二『パリのクール・ジャパン』朝日出版社						
成績評価	平常点（積極的な学習態度を評価する）30%、試験（中間・期末）70% 年間 10 回を超えて欠席した場合、評価の対象外とします。						
実務経験							
その他 特記事項	辞書・参考文献については、第 1 回の講義や講義中に随時紹介する。						